

令和8年度 林業普及週間現地情報

森林管理課

タイワンオガタマノキの育苗試験（種子採取） 9月9日（水）

今年度、八重山地域特有の森林整備に向けて取り組んでいるタイワンオガタマノキの育苗試験について、八重山農林水産振興センター職員は、9月9日（水）に平得県営林内の母樹から種子採取を行った。

タイワンオガタマノキは冬～早春にかけて両性花を咲かせ、そこから集合果を付けるが、結実時期が台風襲来時期と重なることから種子採取が難しいとされていて、開花・結実・発芽といった生理的な知見が少ない。

県営林内では、6月11, 12日に実施した1回目の調査時点で集合果は確認できていたため、成熟時期を見定めるべく定期的に観察を行っていた（当時落下していた種子は森林資源研究センターで発芽試験に供してもらっている）。3ヶ月ほど経過した今回、集合果の肥大化・裂開・落下が進んでいたことから、高枝切りバサミを用いて多数の集合果（中にある種子の成熟状況は問わず）を樹上採取し、比較試験用に周辺落下していた種子の回収も行った。

採取した種子は、森林資源研究センターにおいて低温湿層などの処理を行って発芽率を調査する予定であり、発芽個体が多いことを祈るばかりである。

集合果の裂開は樹上なのか落下後なのか、未成熟で裂開した後にも種子は追熟するのかなどについても、今回の試験で知見が得られるよう調査を続けたい。



採取の様子



実付き状況



集合果

（報告者：八重山農林水産振興センター 比嘉、井口、砂川）